

令和6年度 道志中学校校内研究会について

1 研究主題

『個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する』
～組織で WEBQU 等を活用した安定と活性化を通して～

2 主題設定の理由

本校は、山梨県南東部に位置する人口約 1500 人の道志村にある唯一の中学校である。令和 6 年度の全校生徒は 25 名で、1 年 7 名、2 年 9 名、3 年 9 名である。地域や家庭の教育力により、生徒は素直で純朴であり、集団も安定している。承認感や被侵害行為認知、活動への意欲や表現力等には大きな差があったが、校内研究の成果により改善しつつある。

新学習指導要領の実現のために、班の 3 つの機能で集団を安定させ、全教科の単元を貫く課題解決学習における単元内自由進度学習を通して、B 評価を達成しながら一人一人が主体的で活性化した集団づくりを推進する。また、いじめや不登校、学力向上等の教育課題は、学級の間関係の充実とルールの定着に大きな相関関係があると考え、総合的に捉えて対応する。標準化検査 WEBQU を活用し、指導の優先順位や対応の仕方を共有し、PDCA サイクルで組織対応することを通して、学級の安定を向上させる。また標準化検査 NINO や NRT を活用し、個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成することで、いじめや不登校、学力向上等の教育課題を改善することを提起する。

3 研究仮説

班の 3 つの機能で集団を安定させ、全教科の個別最適な学びと協働的な学びにおける単元内自由進度学習で学習目標を達成させるための活性化を図れば、主体的に学習する生徒を育成できるであろう。また、人間関係の充実とルールの定着により、いじめや不登校等の教育課題も改善できるであろう。

4 研究内容

提起 1 安定と活性化を両立した学級づくりを実現する

○私的関係を公的關係へ

・班の 3 つの機能(・居場所・目標を適える組織・非認知能力)

提起 2 教職員組織で協働実践

○WEBQU・NRT・NINO 等の標準化検査の活用と面接・観察・表現力等の指導

・朝礼や夕礼、週に一度の代表者会、月に一度の職員会議や校内研究で生徒の状態や協働実践の考え方とやり方について PDCA サイクルを回す。

提起 3 早期安定・主体性の実現・継続指導

○6 月までの早期に全クラスの QU を 70～80% に組織で向上させる。

提起4 心理的安全性の確保を徹底する

- フォーサイトへのチェック・月2回の相談の日・端末を活用した道志SOS
- ・WEBQUを年3回実施・生活アンケート・自ら相談する指導・相談される人間関係

提起5 教職員のモチベーション

- 生徒、保護者、教職員から認められる力量
- ・生徒の困り感を優先し、対応策が共有されている。
- ・若い先生に重要な仕事を任せて支えてくれる。

提起6 対外機関の専門家との連携

- 連携しないと、効率と質の高い教育は実現できない

提起7 安定を基盤に「単元内自由進度学習」を全教科で推進する

- 個別最適な学び
- ・NINO等の活用した根拠を基にした学習計画・実践・指導
- ・学びの動機付けを高くする、主体性を高める課題の設定
- ・課題を追求して各自が自分の考えを形成（自ら課題設定）
- ・個に応じた単元内自由進度学習による不登校防止
- 協働的な学び
- ・根拠を用いて自分の考えを自己開示し、聞いてもらい認めてもらう。
- ・協働の目的（3観点の学力の向上）。
- ・協働できる人間関係の構築。

提起8 実証研究を通じた人材育成

- エビデンスを基盤にした協働実践で教育成果を向上させる

提起9 学級の「持ち上げ」の成果と可能性

- ・組織で共通指標を活用し、個と集団を成長させる適切な指導によって安定と活性化を両立させる。
- ・6月の早期にQUを80%達成すると、教育課題を予防できる。
- ・人事異動5割でも、生徒は変わらない。
- ・生徒自身に実践の成果を理解させることで、維持や向上が可能。

◎階層的序列や教育課題を改善するために、「3つの機能の班活動」で安定を徹底してつくる。

◎安定を基盤に「単元を貫く課題解決学習」で活性化を推進する。

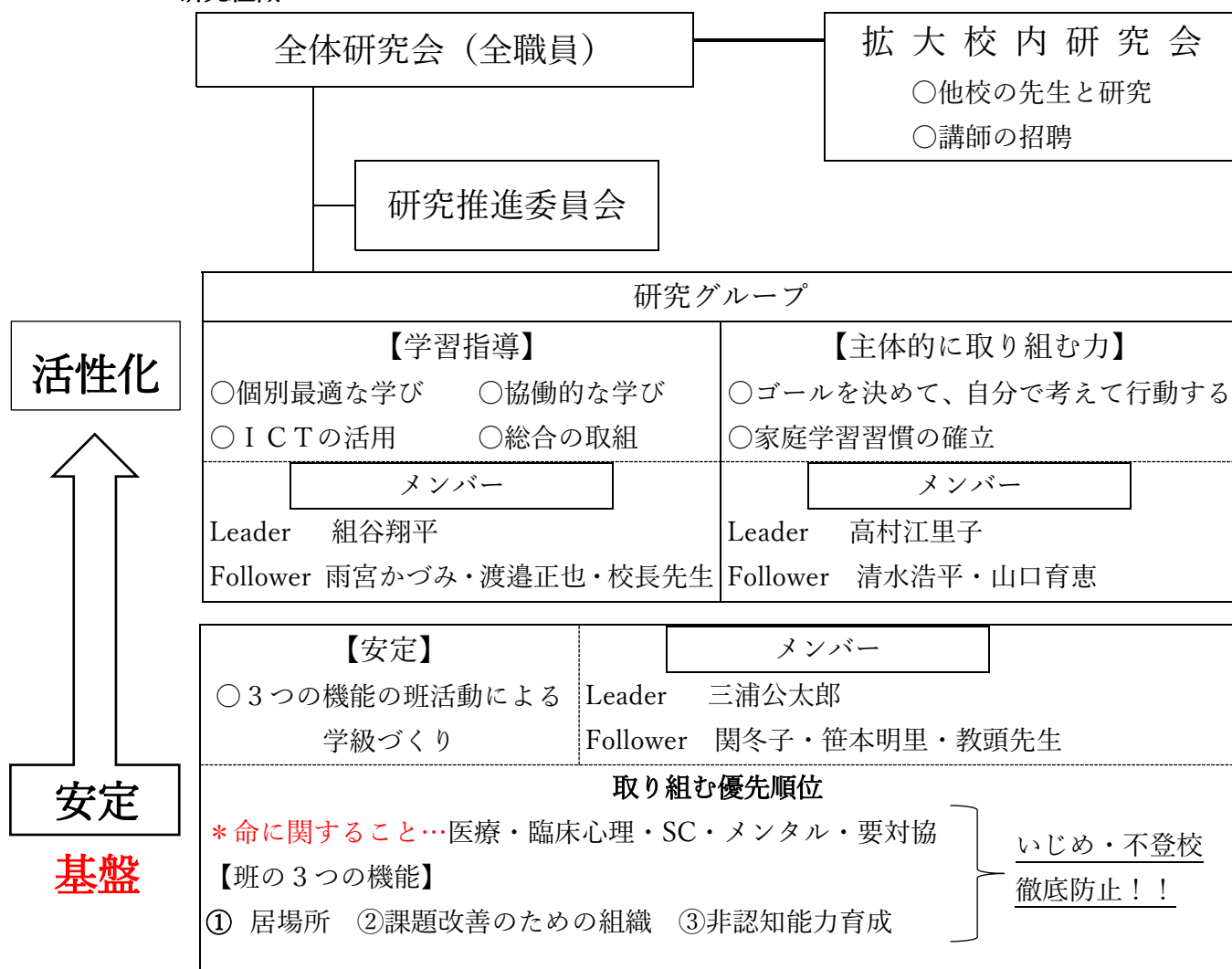
5 研究方法

提起1 安定と活性化を両立した学級づくりを実現する。

提起7 安定を基盤に「单元内自由進度学習」を全教科で推進する。

- (1) WEBQU の活用で指導の優先順位や方法を共有し、P D C A サイクルで組織対応を行う。
- (2) 班活動を通して、居場所を生徒の実態に応じて意図的につくる。
- (3) 班活動を通して、学級目標や学級の課題の達成について、公的に取り組む組織をつくる。
- (4) 班活動において、配慮と関わりのスキルを学ばせる。(非認知能力の育成)
- (5) 教科の単元を貫く課題解決学習における言語活動を通して学級集団の活性化を図り、めあてを達成する。(本校独自の「座席表」「学習キャリアパスポート」活用)
- (6) 授業を公開することにより、安定と活性化を両立した学級を基盤に、個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する成果を発表する。

6 研究組織



安定は3つの機能による班活動で、活性化は毎授業の言語活動によって上げる

7 研究計画

4月3日(水)	第1回	* 昨年度の研究の成果と課題 * 今年度の研究の方向性
4月9日(火)	検査	認知能力検査N I N O
4月11日(木)	臨時	【小中合同校内研①】 * 令和のやまなし教育活動モデル事業について 山梨県義務教育課指導主事からの説明
4月18日(木)	検査	学力検査N R T (1・2年実施)
4月24日(水)	第2回	* 昨年度から継続した組織対応の成果と課題 (年度始め、生徒の学習・生活・特活の振り返りから) * 早稲田大学 高橋幾先生よりご指導・ご助言①(専門家との連携) * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生 よりご指導・ご助言①(専門家との連携)
4月26日(金)	授業参観	1年 教科:英語 授業者:清水 浩平 2年 教科:国語 授業者:関 冬子 3年 教科:社会 授業者:雨宮 かづみ
5月8日(水)	校内研究推進のためのグループ別研究会①	
5月28日(火)	検査	WEBQU①
5月29日(水)	第3回	【提案授業①】教科:理科 授業者:組谷 翔平 * 提案授業を受けて * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生 よりご指導・ご助言②(専門家との連携)
6月7日(金)	臨時	* WEBQU①のデータを活用した面談・観察・協働実践から 早稲田大学 高橋幾先生よりご指導・ご助言②(専門家との連携)
6月14日(金)	校内研究推進のためのグループ別研究会②	
6月19日(水)	臨時	【小中合同校内研③】対象学年:4年 授業者:鈴木 将公 * 小学校の提案授業を受けて
6月26日(水)	第4回	【提案授業②】教科:音楽 授業者:高村 江里子 * 提案授業を受けて * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生 よりご指導・ご助言③(専門家との連携)
7月12日(金)	校内研究推進のためのグループ別研究会③	
8月8日(木)	第5回	* 教育課程環流報告 * 10月の公開研究会に向けて * 2学期の協働実践について (1学期の個人と集団の実態から)

8月20日(火)	夏季研修	【小中合同校内研③】 * 小中それぞれの研究実践について * 山梨県義務教育課指導主事よりご指導・ご助言（モデル事業） * 10月の公開研究会の概要と方向性について
9月2日(月)	臨時	* 1学期の個人と集団の実態に適した協働実践の考え方とやり方と、 2学期の協働実践の方向性について 早稲田大学 高橋幾先生よりご指導・ご助言③（専門家との連携）
9月13日(金)	校内研究推進のためのグループ別研究会④	
9月25日(水)	第6回	【提案授業③】 教科：数学 授業者：三浦 公太郎 * 提案授業を受けて * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生よりご指導・ご助言④（専門家との連携）
10月11日(金)	校内研究推進のためのグループ別研究会⑤	
10月16日(水)	第7回	【公開研究会】【小中合同校内研④】 【提案授業④】 教科： 授業者： * 山梨県義務教育課指導主事よりご指導・ご助言（モデル事業） * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生よりご指導・ご助言⑤（専門家との連携） * 早稲田大学 河村茂雄教授ご講演（専門家との連携） 等
10月21日(月)	検査	WEBQU②
11月13日(水)	校内研究推進のためのグループ別研究会⑥	
11月16日(土)	授業参観	1年 教科： 授業者： 2年 教科： 授業者： 3年 教科： 授業者：
11月27日(水)	第8回	【提案授業⑤】 教科：社会 授業者：雨宮 かづみ * 提案授業を受けて * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生よりご指導・ご助言⑥（専門家との連携）
12月11日(水)	校内研究推進のためのグループ別研究会⑦	
12月18日(水)	第9回	【提案授業⑥】 教科：国語 授業者：関 冬子 * 提案授業を受けて * 一般財団法人 応用教育研究所研究部研究係長 黒沢奈生子先生よりご指導・ご助言⑦（専門家との連携）
1月22日(水)	校内研究推進のためのグループ別研究会⑧	
1月29日(水)	第10回	* 2学期の個人と集団の実態に適した協働実践の考え方とやり方と、 3学期・次年度の協働実践の方向性について 早稲田大学 高橋幾先生よりご指導・ご助言④（専門家との連携）

2月4日(火)	臨時	【提案授業⑦】教科：学活 授業者：三浦 公太郎 * 小学校6年生への出前授業 * 1年生との異学年交流で進学への不安を下げ、安心感を向上させる
2月10日(月)	授業参観	【3年生に贈る会】 * 異学年交流で多様な他者を尊重し、協働しながら創造する * 取り組みを通して人間関係の向上とルールの定着を向上させる
2月14日(金)	校内研究推進のためのグループ別研究会⑨	
2月21日(金)	臨時	【提案授業⑧】教科：音楽 授業者：高村 江里子 * 小学校6年生への出前授業 * 1・2年生との異学年交流で進学への不安を下げ、安心感を向上させる
2月26日(水)	第11回	* 研究のまとめ * 来年度に向けて

小中連携に関わって

- ・ 4月11日(木)に、義務教育課指導主事より「令和のやまなし教育活動モデル事業」の説明を合同校内研で実施する。
- ・ 1学期は小学校の提案授業を受けて、合同校内研を実施する。
- ・ 8月20日(火)の合同校内研において、義務教育課指導主事より研究実践についてのご指導ご助言をいただく。
- ・ 2学期は中学校の10月16日(水)の公開研究会を合同校内研とする。
- ・ 3学期は検討しながら可能であれば合同校内研を実施する。